

「特集」恒川史跡公園



埋もれた歴史を掘る

【史跡 恒川官衙遺跡の発掘調査】

座光寺の恒川官衙遺跡は、古代国家を地方から支えていた役所跡です。役所跡は約300年前の大洪水によって埋もれたため（下から2番目の黄色い地層）、よく残っています。その下の江戸時代の畑の土を取り除くと、およそ1300年前の地層が現れます。



# 恒川史跡公園

ごんが

しせき

ごんがかんが

座光寺地区にある「恒川史跡公園」は、史跡恒川官衙遺跡を将来にわたって保存・活用できるよう整備を進めている公園で、令和4年3月に「恒川史跡公園・清水エリア」が完成しました。今回は、史跡や整備計画の概要、発掘調査の様子などをご紹介します。



▲石碑に刻まれた題字は、座光寺地区区内での公募29作品の中から選定されたものです。

●問い合わせ／文化財保護活用課 ☎0265(53)3755

## 国指定史跡 恒川官衙遺跡とは？

今から約1300年前の奈良時代、律令制度に基づき、国には「国府」、その下に「郡衙」が設置され、地方を統治していました。長野県の大半は「信濃国」と呼ばれ、10の郡から構成されていました。私たちの住む飯田は「伊那郡」に属していました。伊那郡の範囲は伊那市の南部まで及んでいたとみられます。その伊那郡を統治した役所が「伊那郡衙」で、現在のJR飯田線「元善光寺駅」東側一帯の恒川遺跡群に所在していたことが判明しました。郡衙の遺跡は全国的にも数少なく、日本の歴史に欠くことのできない重要な遺跡であると評価され、恒川遺跡群のうち郡衙に関連する範囲が平成26年3月18日に「恒川官衙遺跡」として国史跡に指定されました。なお、「官衙」とは役所を意味します。

## 伊那郡衙の役割

史跡恒川官衙遺跡の特徴の一つは、他地域の郡衙遺跡と比べて硯がたくさん出土していることです。硯は役人が文字を書くための必需品であり、硯の出土量がその官衙の事務量に比例していると考えられています。これは、郡衙の長官であった「金刺舎人八麻呂」が、信濃国全体の牧場の長官も兼ねていたことと東国への出入口にあたる土地柄によるものとみられます。



遺跡から出土した古代の硯

## 主な郡衙の施設

- 郡庁…郡内の政治を行う
- 正倉…税金として集めた米や稲束を保管した倉庫
- 厨家…役所の給食施設
- 館……出張で訪れた役人の宿泊施設

史跡  
恒川官衙遺跡で  
確認!!



遺跡の範囲



## 未来へ伝える史跡

平成30年3月、地域の皆さんと共に「史跡恒川官衙遺跡整備基本計画」を作り、公園整備の考え方をまとめました。市教育委員会では、史跡を大切に保存して未来に伝えられるよう、整備を進めていきます。利活用の方針に従い、史跡内を5つのエリアと連絡路に分けて計画的に整備を行います。

## 聖なる場所 清水エリアの公園整備

「恒川清水」は古くから水が湧く聖なる場所であり、郡内の安泰を祈願するためのお祭りの場であったと考えられます。郡衙がなくなった後の時代も、大切な場所としてそこに住む人々によって現在まで守られてきました。神聖なこの場所を整備の第一歩とし、令和2年から令和3年にかけて整備工事を



整備対象地のゾーニング

今年度は、令和5年3月の完成を目指し、郡衙の北限を示す溝が確認されている「正倉院北側エリア」の整備を行っています。また、「ガイダンスエリア」内に設置する施設の配置や展示計画などの方向性を検討し、基本設計を作成します。  
来年度以降も、公園完成に向けて整備を進めていきます。

## これからの公園整備



座光寺地区の方々と座光寺の山から幼木を採取し、植樹を行いました。



飯田技術専門校生が飯田産材を使用して四阿を制作していただきました。



整備前の恒川清水 (H29)



年間を通して水を湛える恒川清水になりました。

行い、年間を通して水を湛えた姿を復元しました。



## 近年の発掘調査から



恒川遺跡群は、昭和50年代に国道153号建設に先立ち緊急発掘調査が行われ、その後の発掘調査で正倉が発見されたため、伊那郡衙と判明しました。近年は史跡公園整備予定地で発掘調査を実施しており、新たな正倉建物などが発見されています。



### 2 中央広間を確認しました (令和元~3年度)

正倉院の南側には正倉が列をなして建てられ、北側にもこれと並行する正倉、西側にはこれと直交する向きの正倉が確認されており、「コ」の字または「口」の字状に正倉が配置されています。中央部からは何も建物が確認されておらず、中央広間(中庭)であったと考えられます。

### 1 伊那郡衙の北側を区切る溝 (郡衙北限溝)を確認しました (令和元年度)



段丘の縁に沿って、幅2~3m、深さ1m弱の溝が確認されました。伊那郡衙の北側を区切る溝と考えられ、溝から出土した土器などを調べた結果、7世紀末に掘られ、伊那郡衙終末期の10世紀頃には埋まっていたことがわかりました。



### 4 正倉の礎石が多く残っていました (令和元・2年度 1号礎石建物)



正倉は高床式の倉です。何トンもの米を収納するため多くの柱で支え、柱の沈下を防ぐために礎石が用いられました。伊那郡衙の正倉には1棟に20本の柱がありました。礎石は正倉がなくなった後、畑の邪魔になるため撤去されるのが普通ですが、この正倉では10基余りの礎石が元々の位置に残っていました。

### 3 正倉火災の痕跡により、柱の太さが確認できました (令和元・2年度 8号礎石建物)

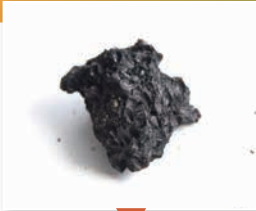


礎石の中央に、黒い輪が見えます。これは火災により柱の周りがかすすが、その炭や煤が礎石に付着したものと考えられます。これにより、正倉の柱が直径27cmの円柱であることが確認できました。

### 5 正倉建物の建替えを確認しました (令和元・2年度 102次調査区内)



7世紀後半頃



建物は未確認ですが、7世紀末～8世紀前半に収穫されたとみられる炭化米が出土しており、伊那郡衙設置時期に穀倉があったことがわかります。

8世紀前半頃



奈良時代全盛期の正倉は、地面に穴を掘って柱を固定する掘立柱建物です。

8世紀後半～9世紀頃



掘立柱建物跡のほぼ真上に礎石がのっていることから、柱を地面に埋める掘立柱建物から、礎石と呼ばれる平らな石を地面に据えて柱を立てる礎石建ちの建物の建て替えられたことがわかります。

～10世紀頃



黄色い土は江戸時代の洪水砂(未満水)、黒い土は江戸時代の畑の土です。江戸時代まで地面に出ていたことから、伊那郡衙の最終段階の正倉と考えられます。以後、伊那郡衙は廃止されました。



「史跡 恒川官衙遺跡」は飯田市ウェブサイト「文化財保護いいだ」で解説しており、周辺の文化財情報も掲載しています。

市HP [文化財保護いいだ](#) [検索](#)

YouTubeもぜひご覧ください。▶▶





## 南信州環境メッセ2022 環境先進地を目指して



太陽光で走行する車を製作



自然環境保全ポスター入賞者

「リニアとともに地域がにぎわう環境先進地を目指して」をテーマに、SDGs、再生エネルギー、エシカル、森林保全などに取り組む企業や学生がエス・バードに集い、出展や発表をしました。また、小学生の皆さんが描いた、自然環境保全ポスターの入賞作品表彰式も行われました。来場者はさまざまな取り組みやイベントを通じ、楽しみながら環境について、見て、触れて、学びました。

## 第68回 風越登山マラソン 3年ぶりに開催



勢い良くスタートを切る選手たち

国内で開催される登山マラソンとしては、日本一歴史ある大会とされる「風越登山マラソン」が、10月23日に開催されました。秋晴れの空の下、258名のランナーが健脚を競い合いました。

## 「春草かるた大会」初開催 地域の偉人に親しむ



読み手の声に集中する参加者

10月15日、橋北公民館で「春草かるた大会」が行われました。このかるたは、春草の生誕地である橋北地区の皆さんが制作したもので、参加者は春草の作品やその生涯を学び、語り合いながら楽しみました。





## 天龍峡マルシェ 飯田丘のまちフェスティバル イベントの秋、にぎわう

五平餅の出店ブース(南信州天龍峡マルシェ)

川路地区では10月23日に「南信州天龍峡マルシェ」が、中心市街地では11月3日に「飯田丘のまちフェスティバル」がそれぞれ開催されました。

「南信州天龍峡マルシェ」では、グルメやクラフトなど130店余りの出店者で活気に溢れました。

サブカルチャーとグルメの祭典「飯田丘のまちフェスティバル」は令和元年以来の通常開催となり、幅広い年代の皆さんでにぎわいました。



コスプレイヤーが集まり華やかに(飯田丘のまちフェスティバル)

## 上村川にアマゴの稚魚放流 川を魚でいっぱい



上村小学校の児童がアマゴの稚魚を放流

10月19日、上村小学校の皆さんが、学校近くを流れる上村川に、アマゴの稚魚300匹を放流しました。「川にたくさん魚が増えて、自然豊かになってほしい。」と願いを込めて送り出しました。

## 令和4年度教育功労者表彰 ご尽力をたたえて



教育功労者表彰を受賞された皆さん

長年にわたり教育分野にご尽力くださった皆さんのご功績をたたえて、教育功労者表彰式を10月18日に行い、教育長から表彰状・感謝状と記念品が送られました。

# 現代版 養生訓

## 副甲状腺の病気



乳腺内分泌外科  
新宮 聖士 医師

「副甲状腺って何？」

ほとんどの方はそう思われるのではないでしょう。副甲状腺ならたぶんご存じの方も多いでしょう。喉にあつて大きく腫れてバセドウ病という病気になったり、腫瘍ができると手術が必要になったり…。今回は副甲状腺ではなく副甲状腺のお話です。

副甲状腺は甲状腺の裏側にある米粒大の小さな臓器で、通常4個あります。副甲状腺ホルモンを分泌し、それを介して血液中のカルシウム濃度を調節するという重要な働きをしています。

副甲状腺の病気のほとんどは、副甲状腺が働き過ぎてしまう原発性副甲状腺機能亢進症です。その原因は、①腺腫（1個の副甲状腺に

できる良性腫瘍）、②過形成（4個とも腫れる良性疾患）、③がん、です。腺腫の頻度が高く、がんはごくまれです。過剰に分泌された副甲状腺ホルモンにより骨や腸管からのカルシウムの吸収が促進され、高カルシウム血症、骨粗しょう症、尿路結石などが起こります。また、慢性腎不全の患者さんに発症する続発性副甲状腺機能亢進症もあります。

診断を付けるためには、血液検査、超音波検査、CT検査などを行います。

原発性副甲状腺機能亢進症の治療は手術による切除です。腺腫の場合は、原因となる副甲状腺を摘出します。過形成の場合は、副甲状腺全腺を切除して1腺の一部を前腕筋肉内へ自家移

植します。がんはごくまれですが、血清カルシウムが異常高値で、大きな腫瘍を認める場合は、がんを疑い手術を急ぐ必要があります。血清カルシウム値がやや高い程度で、全く症状のない場合は、経過観察とします。続発性副甲状腺機能亢進症に対しては、まず内科的な治療を行い、内科的治療が奏効しない場合は手術を考慮します。



飯田市立病院  
〒395-8502 飯田市八幡町438  
TEL.0265-21-1255

Vol.0023

## 市長室から

市長 佐藤 健

### AI時代を生き抜く力



先日開催された長野県図書館大会の基調講演の講師として、「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」の著者・新井紀子さんが来飯され、対談する機会に恵まれました。いくつかお会いしたいと思っていた方にこういう形でお会いできるのは、まさに役得です。

「キーワードから検索して答えを出すAI（人工知能）は、文章の『意味』は分かっている」と看破する新井さんは、単語だけを拾い読みして分かった気になるような読み方しかできない人（文章の「意味」が読み取れない人）は、AIに仕事を取って代わられてしまうと警告しています。

著書では、「読書量が多い、或いは、本が好きということと、読解力が高いとい

うことには相関関係がない」と書いておられ、私としては少なからぬショックを受けていたのですが、近著では、多くの大人との関りが、子どもの語彙力・読解力を高めることを示唆しておられ、また、お話の中で、最近の研究結果として、「視写（見て書き写すこと）」に取り組みと読む力が向上するようだと、とても仰っておられました。

新井さんとお話ししながら、豊かな自然と触れ合い、地域の大人たちとの関わりの中で育っていく飯田の保育・教育環境は、これからの時代、都会に比べて間違いなく優位であると改めて確信しました。

保育現場・学校現場と協力して、これにさらに磨きをかけていきたいと思えます。



## 学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.95

### 住民の温かさが 心地よかった遠山郷

松本大学観光ホスピタリティ学科3年

山崎 一輝 (長野県安曇野市出身)

私は3日間のフィールドスタディを通して「住民の温かさ」を遠山郷で感じることができました。

フィールドスタディでは、「子育て環境」をテーマにしたグループに参加し、どんぐり隊の方々と竹を切る作業を行いました。作業では、どんぐり隊の方々が、それぞれの出身地から来た私たちに、会った瞬間から手厚くサポートしてくださいました。まだ名前も知らないのに、ここまで快く温かく迎えてもらえるんだ、と私はこのことにとっても温かさを感じました。作業をしていてもどんぐり隊の方々は常に笑顔が絶えず、私たちまで笑顔にさせてくれてとても居心地が良かったです。作業の後に行った座談会でも、私たちが考えた質問にすべて答えていただいたので、より理解を深めることができました。

今回のフィールドスタディにかかわっていただいた、遠山郷の住民の方々に温かく迎え入れてもらい、心地よい3日間のフィールドスタディを行うことができたので、とても感謝しています。



遠山郷での竹切り



先月の  
山内 宏さん(松尾)  
からのリレー



今がんばっていること

佐藤 弘子 さん (川路)

私がんばっていることは、日々の仕事と育児です。最近7歳の長女が縄跳びにハマり、縄跳びの足音を聞きながら夕飯作りをします。長女が「何回!?!」と聞くので、「10回跳んだ!」などと返します。そこに、どうしても自分で味噌汁を作りたい5歳の二女と、どうしても真似したい2歳の三女が加わるとえらい騒ぎです。包丁や火で怪我をしないかと二女を心配する横で、三女がハクビシンのようにキャベツをむしり取って食べ、長女には「何回!?!」と急に聞かれて正確に答えないと怒られ…食べる頃にはイノシシが食い散らかしたありさまです。諸先輩方の「大変なのは今だけよ。」の言葉を頼りに何とかやっついこうと思います。

毎月市民の皆さんに、

① 私の健康法 ② 感動したこと ③ 今がんばっていること ④ まちづくりへの提言  
以上の項目から選んで語っていただき、次の方にボタンタッチする「リレートーク」です。次はあなたの番かも…



佐々木結望 さん  
(龍江小学校6年)

### 保育士になること

私の将来の夢は「保育士になること」です。この夢を持つようになった理由は、私が小さい子どもと関わるのが好きだからです。保育園に通う子たちが毎日元気に楽しく通ってくれるように色々な工夫をして、明るいクラスにできるようにがんばりたいです。

この夢を実現できるように、遊びの中でも、ただ楽しむだけでなく、もっと楽しめるように道具を使ったり、ルールを決めたり工夫してみんなが「楽しい!」と思えるような「私の夢」をかなえていきたいと思っています。